

議会だより

どうする脇坂!!

- ◆予算・決算特別委員会報告 2～3ページ
- ◆一般質問 4～8ページ
- ◆委員会報告 9～11ページ
- ◆質疑・討論 12～13ページ
- ◆議決の結果 14ページ
- ◆監査報告 15ページ
- ◆議会の動き・編集後記 16ページ

予算・決算特別委員会報告

委員長 小幡 憲仁

《審議事項》

◎付託案件の審査

■承認第3号「先決処分の承認を求めること」

《先決処分の概要》

町議会・県議会議員補欠選挙費用の先決処分
誰もが政治参加できるという観点で町議会議員選挙費用の公費負担制度の導入を考えるべきとの指摘がなされ、今後、各町の担当課長会議等で意見提起するとの答弁があった。

○採決結果 全員賛成で原案可決

9月定例議会開会

9月定例町議会は、7日から24日までの18日間の日程で開かれました。
平成22年度一般会計補正予算および特別会計補正予算、平成21年度各会計決算など27案件を審議しました。

■議案第43号「平成22年度高浜町一般会計補正予算（第3号）」

《補正予算の概要》

4億1,322万1千円の追加補正
下車持町有地整備工事について、整備後は民間に賃貸し、葬祭業として利用されることから、周囲の緑化等の予定がないかとの質問があり、緑地整備の予定はないとの答弁があった。また、奥の土地、2,400平米が未

利用となるため一括賃貸すべきとの指摘があり、相手側は葬祭業の将来予測を見て当該土地の賃借も視野に入れているとの答弁があった。



民間の葬祭業に賃貸する町有地

県工事で整備された脇坂公園内に所有権が難波江区のままとなっている土地が約5,700平米残っており、今回この土地の用地取得費について質疑があり、脇坂整備開始時に地権者から工事起工承諾を取って実施し、その時点で、将来的な用地買収の約束がなされていたことを確認した。更に、この脇坂用地の取得は全て町が行うこととなっており、既に、当該土

地以外の全ての土地を高浜町が取得済みであることを確認した。なお、この用地は、県が、国の「総合整備事業債」を借り入れて整備を行っていることから、民間にはこの用地を提供することができないことを確認した。但し、この町が行う事業の実施時期には特に制約がないことも確認した。

和田駅前駐車場整備工事について質疑があり、駐車場の運用として、高浜駅と同様に料金箱を設置して、300円の料金を徴収することを確認したが、料金箱と看板の費用が割高なことから適切な運用方法について再考するよう意見提起があった。

○採決結果 賛成多数で原案可決

■認定第1号「平成21年度高浜町一般会計歳入歳出決算認定」

《決算の概要》

歳入歳出決算額 75億9,850万7,783円（対前年度比4.48%の増加）

【総務費】

職員研修費に予算残額があるため人材育成面から予算を有効活用し研修に行かせるべきとの指摘に対し、研修日程と職員の都合がつかないケースや、町村会から研修補助金があったため残額が生じたとの答弁があった。

防犯灯の点検確認業務委託の結果に関連して、町有街灯と区有街灯が明確に識別できるようにならないかとの意見提起があったが今回は町有街灯のみの調査を行ったものであり、区有灯は各区で管理されたいとの答弁があった。

【民生費】

第3子以降の子ども出生時に20万円を交付する出生祝金制度を、国の「子ども手当」開始に伴い廃止したが、安易な廃止であり復活すべきとの指摘があったが、復活は考えていないとの答弁があった。

民生児童委員協議会活動助成事業に関連して、個人情報保護法の過剰な運用によって、民生委員が職務上必要な情報が開示されず支

障を来たす実態があるのではないかととの指摘があり、実際に民生委員からそうした声もあがっており、個人情報提供のあり方について担当部局と調整を図り民生委員がしっかりと仕事ができるよう善処したいとの答弁があった。

【衛生費】

霊柩車の更新計画についての質問があり、現在、小浜、おおい、高浜の3市町で、斎場広域化の検討を進めており、霊柩車の更新はこの計画の中で考えたいとの答弁があった。

【農林水産業費】

青戸入江の海底清掃、赤貝放流事業の成果について質問があり、赤貝漁獲量は減少傾向にあるが漁場の環境改善に効果があるため今後とも継続要望があるとの答弁があった。

【商工費】

まちの駅運営事業に関連して、コパンなどの収支状況について質問があり、全般的に売り上げが減

少傾向にあり、今後、収支改善に取り組むことを確認した。

【土木費】

橋梁長寿命化修繕計画策定に伴う点検業務委託料の成果について質問があり、これは橋梁の修繕計画を策定するための事前の調査という位置づけで実施したものであり、この調査結果に基づき、今後、修繕計画を策定することになるが、軽微な修繕も含めて47橋に何らかの問題があったとの報告があった。ただし、直ちに危険が伴う問題ではなく、今後、橋梁修繕計画に基づき順次修繕を実施するとの答弁があった。

【教育費】

教職員住宅管理事業に関連して、現在の教職員住宅の利用状況、今後の改修計画等について質問があり、全15戸のうち9戸を使用中有ること、今のところ大きな改修計画はないとの答弁があった。

【総括質疑】

事業の財源の捻出において、電

源交付金以外の国県補助金の活用事業が少ないのではないかととの指摘があり、確かに国の補助事業が減少しているが、これは、補助金の裏負担による財政への影響も考慮した結果であることの答弁があった。なお、省庁の了解があれば補助金の裏負担に電源交付金が活用できるようになったことから、今後は国の補助金もできるだけ活用していくとの答弁があった。

事業評価システムの活用について質問があり、現時点では自己評価による事業評価を行っているが、今後、町民にも分かりやすい評価方法などについて検討を加え、評価結果を開示していく方向で取り組んでいくとの答弁があった。

○討論・採決

反対討論として、原発財源に依存した財政運営であり、財政力指数や経常収支比率への悪影響が出ており、反対するとの討論があった。

○採決結果 賛成多数で原案認定



磯部 武史

「白だより」の評価について

答弁 賛否両論、全戸配布は検討

問 白だより（夏白）が全戸配布された後、多くの町民から苦言を聞く。

必要ない人にとっては無駄なものであり、欲しい人はたくさん欲しいものである。全戸配布は多くの無駄があるのでは。

120万円の予算で3回発行とあるが、夏白の評価と、残り2回も全戸に配布するのかわかる。

町長

答

高浜白宣言を基にした活動は賛否両論あるが、少しずつ高浜を見直す形になりつつあると感じる。「日本の中の高浜」を意識し、他所にない魅力や付加価値を作り上げて行きたい。

秋白・冬白の、全戸配布という手法については検討する。

◆町民運動会、補助削減を見直せ

答弁 主催者の英知、熱意に期待

問 固定経費は変わらず、参加賞などの景品を少なくするしかない。

今年は、2種目減、各競技の出場組数を少なくするなど相当な工夫をされている。

運動会は、運営を委託し「やつてもらっている」という要素が強い。補助削減を見直せないか問う。

答

副町長

減額の要因は、世帯割で補助金を交付してきたが、地区によって参加率に大きな離れがあるためであり、均等割と世帯割の2階建てとした。

主催者の

英知、熱意により参加者の満足度を損なうことなく実施運営されることを期待する。



全戸配付された白だより（夏白）



小幡 憲仁

核燃料税の配分見直しを県に提言すべき

答弁 立地市町への手厚い配分について強く県に要望する

問 福井県の核燃料税の配分方法は複雑でわかりにくい。

特に「県との連携事業枠」や「嶺南広域行政組合」を通じて交付される財源は使い勝手が悪い。核燃料税の趣旨を考えると立地市町への配分率を高めるべきである。

答 町長

来年11月の核燃料税の見直し時期に向けて、議員の指摘のとおり立地協とともに強く県に要望する。

◆保育所での幼児教育の充実

問 全国学力調査結果で、幼稚園に通った子どもより保育所に通った子どもの正答率が低いという結果がある。幼稚園のない高浜町として看過できない。高浜町立保育所で幼児教育の充実を図る。

一方閉鎖水域でもあり水質の富栄養化が懸念される。青戸入江の振興策どのように考えているか問う。

答 副町長

当初計画の「ウェルネスパーク青戸」の公園整備は難しい。太陽光発電施設や野菜工場等の企業誘致などのアイデアも踏まえ計画の見直しを町内委員会等を立ち上げ検討する。

◆青戸入江埋立地の今後について

問 平成22年度に竣工予定の青戸入江埋立て地の今後の利用計画について問う。

答 保健課長

現在の保育指針は、幼稚園教育要領と遜色のない内容である。幼稚園と保育所、双方時代とともに差がなくなっている。

町内の各保育所では保育指針で規定された保育の内容を踏まえ、保育課程や年間指導計画を作成し取組んでいる。今後も保育の機能及び質の向上に努める。



清常 光洋

国民健康保険税の減税について

答弁 減税額を一般会計で補填する必要があり難しいと考える

問 国民健康保険の加入者は、自営業、農林漁業者の方、会社等勤めを止められた方、更には定年退職をしたサラリーマン等、いわゆる年金生活者が加入している。国保税は所得割・資産割・平等割を基本に課税されており、特に年金生活者については、年金収入の他、固定資産税割が加算される事から、重税感が重くのしかかっている。因って、固定資産税割を減額する考えはないか。

税務課長

国民健康保険の加入者は、低所得者が多いという事から、国県等公費負担が、他の社会保険制度より高くなっている。資産割相当分を減税（額）する場合、一般会計から繰入が必要となることから難しいと考えている。

◆老人介護に係る町独自の支援策について

答弁 現行の制度を活用し、新たな支援策については、今後の課題と考えている

問 高齢化社会の中、特に老人が老人の介護をする家庭の支援策について問う。介護はされる側にとっても、する側にとってもきびしい現実がある。家庭での介護が困難となると、ホームヘルパーによる訪問介護、老人保健施設への入所を余儀なくされる。

訪問介護、施設の使用料は高額となり、経済的負担も大きくなる事から、町独自の支援策を制定する考えはないか。又、家庭看護について、医師による往診体制を構築する考えはないか。

答 福祉課長

現行の介護サービス、施設利用負担軽減制度等、併せて利用いただき、新たな支援策については十分な検討が必要と考えている。往診体制については、和田診療所において、在宅診療の方には、訪問看護の体制はとっている。



池田 康信

耕作放棄地対策は！

答弁 新たな耕作放棄地の発生防止対策に地域協議会を立上げる

問 耕作放棄地の課題と認識、その有効対策についてどのようになっているか問う。

答 まちづくり課長・町長
本町の現状は水田346・7haのうち11・5haが耕作放棄地で人力再生可能6ha・再生不可能5・5haである

今後必要なことは、遊休化農地の利活用と新たな耕作放棄地の発生防止対策である。取り組みとしては、町・農業委員会・JA・農業者等による地域協議会を立上げ現状把握調査や、再生利用計画等の策定に取り組む。又、これらに関連する助成制度も検討したい。

問 青戸入江の再生について

青戸入江は小浜市・おおい町・高浜町にまたがる風光明媚な入江であり漁業資源も豊富である。

一方閉鎖水域でもあり水質の富栄養化が懸念される。青戸入江の振興策どのように考えているか問う。

答 まちづくり課長

青戸入江の総合計画はないが、若狭地域の水産業の振興と活性化を図る目的とした、若狭地域産業官連絡協議会はある。青戸入江に特化した協議会的な場を設けるよう県指導の下、小浜市・おおい町と協議していききたい。水質の環境悪化の課題は定期的に検査を実施しており今のところ問題はない。堆積ヘドロの対策として①赤貝放流②海底耕耘③ゴミ・有害物質の徐去を実施している。青戸埋立地への水産加工企業の立地は考えていない。

問 忘れられようとしている歴史的・文化的遺産を今一度見直して後世に伝えるべきではないか問う。特に龍山和尚の石碑。

答 教育事務局長

石造物や郷土の偉人関係の資料等は今までから調査してきた。観光面での活用はできる限り協力していく。龍山和尚の賛青葉山碑文は余り知られていない。



渡辺 孝

核燃料サイクル政策について

問 ①国による「核燃料サイクル政策」は、その中心技術である高速増殖炉開発、再処理工場、また高レベル廃棄物の処理問題など、成功の見通しはきわめて暗い。町は、プルサーマル計画を国策だと積極的に追認しているが、このような不確定な政策に疑問をもたないか。

②プルサーマル運転をすれば、使用済MOX燃料がたまり続けるが、このままでは永久に田ノ浦に置かれることになる。プルサーマル中止をふくめ、国に意見を言うべきではないか。

答 町長

①今後も原子力発電を推進する考えは変わらない。高速増殖炉、再処理工場も、操業開始に向けて着実に進めてもらいたいと考えている。

②使用済MOX燃料については、

発電所からの搬出を国に求めている。

◆子どもの国保税の減額を

問 国民健康保険税は、生まれただけの子どものためにまで被保険者均等割が賦課されている。子育て支援の観点からも減免すべきではないか。

答 住民課長

本町の国保税は所得割、資産割、被保険者均等割、世帯平等割の4項目で算出している。均等割で子どもを減額すれば、他の項目にしわ寄せがくる。単に子どもの減額はできない。

◆病院窓口負担に減免制度を

問 病院窓口で支払う一部負担金の軽減のため、国民健康保険法第44条にもとづく減免制度の創設を提案する。

答 住民課長

国は、減免について平成22年度中に一定基準を示すとしており、それをまわって検討する。



深井 久則

長期的な財源の確保について

答 情報収集に努め財源を確保したい

問 発電所関係の財源が減少する中、新たな財源はあるのか。

答 町長

税収が減少する中、ムダを省き効率的な運用に努めていく。将来的には、高齢年化、リブレイスなどで、財源確保に努めたい。

問 関電が地域との共生を唱えている。町長自身がトップセールスを行い、地元企業を成長させ、地元企業による雇用拡大が必要である。現在の発電所の地元雇用は何人か。

答 町長

正確な人数は今では出せない。データを持つことは必要である、数字をつかむべきである。発電所の年間予算は、250から300億である。地元枠は？

答 町長

数字は挙げられないが、関電の社長には、会うたびに地元発注を申し上げている。地元企業にもスキルアップを求めたい。このことは商工会で検討中である。

問 発電所の大型設備のリプレースの前倒しは出来ないか。

答 町長

発電所は耐用年数よりも、早め早めに設備の更新を行い、安全確保に努めている。

◆観光事業の展望は

問 城山公園の再開発でどのような経済効果を見込んでいるのか。

答 まちづくり課長

検討の初期段階のため明確ではない。

問 高浜ブランドの生かし方は。

答 まちづくり課長

安定供給体制が整っていないので、「高浜ブランド」に育っていない。



栗野 明雄

城山公園に愛を

答 手入れはする

条例は検討する

問 「トイレに愛を」と役場のトイレにはシートが貼ってある。

私は「城山公園に愛を」と申し上げたい。城山公園は高浜の中心に位置している。これまでの10年間は、あまりにも城山公園を放置しすぎた。もっと手入れをするべきである。

答 まちづくり課長

愛情を持って公園管理をしていきたい。さらなる事業費対応を考える。

問 この夏はキャンプ禁止区域がキャンプのテントで埋まった。

昭和40年に制定された条例があるが、罰則規定など見直しはしないか。

答 まちづくり課長

注意喚起は行っている。彼



らを雇用している会社にも連絡をしている。県や嶺南各市町と協議して、条例の改定を検討したい。

◆高浜町総合計画の反省点は

問 総合計画が現在策定中である。これまでの総合計画は、民間活力を引き出すことなどはまったくと出来ていない。次期計画にどのように生かすのか。

答 副町長

総花的な夢話で終わらないように、多くの関係者を巻き込み、細やかな計画にしたい。行政任せにならないようにしていきたい。

現在

ホームページでパブリックコメントを募集中である。



勝本 繁昭

公民館の今後の見通しは

答 建て替えを

問 中央公民館と和田公民館の建て替えを考えておられるか問う。

答 教育長

中央公民館は、役場新庁舎と併設し建て替えるか、また、瑞祥苑など他の文化施設を中央公民館として併用していくか、この2案で検討している。また、既存の和田公民館を新たに建て替える方向で検討している。

◆国道27号線に交通信号機の新設は

答 検討課題

問 国道27号線とJR小浜線を渡るのに横断しなければならぬ。交通信号機の設置ができないか問う。

答 総務課長

最善の安全対策が講じられるよう、小浜署と協議していく。

◆個人情報の守秘は

答 有用性を

問 我が町の個人情報守秘の緩和策が考えられないか問う。

答 総務課長

例外規定もあるので、それぞれの事案において慎重に検討した上で、対応に当たりたい。

◆片間川の環境保全について

答 状況に応じた対応

問 汽水域の生き物を守り保存していくには、河川の環境保全整備が重要と考えるが。

答 建設整備課長

和田地籍の片間川は淡水と海水の混じり合う汽水域を有した河川であり、この汽水域では絶滅危惧種を含め数多くの貴重な生物が生息しており町も現在生態系を見守ってきたところである。ここに生息する生物の環境を変えてしまうことになりかねず、慎重な対応が必要であると考えている。



的場輝夫

観光重視から

「雇用・福祉」に

重点をシフトすべき

答弁 観光は「選ばれる町づくり」に向けて、一要素である

問

当町はこんにちまで、永きにわたり観光に多くの財源を投資してきたが、未だ町財政に寄与するものは育たない。そろそろ「雇用・医療・介護等の福祉や子育て環境・自然環境」で選ばれる「住みたくなる」町づくりにシフトしていくべきではないか。

答

町長 観光は「えらばれる町づくり」の一要素であり、指摘されている要素を組み込んで「コンパクトシティ」構想をうちだしている。

問

将来の町財政・雇用の安定のための「企業誘致」活動が、消極的である。企業誘致の実績を得るため、町あげでの推進母体を検討すると共に、誘致場所についても抜本的に検討するべきで

答

町長 誘致戦略を確立し、併せ、新たな誘致場所の選定についても検討していきたい。

問

町長 「マニフェスト」実現にむけ、町政全般に渡り多くの外部アドバイザーが招聘されているが、期間明示の活用すべきである。効果についても説明されたい。

答

町長 野瀬町政の特色のひとつである外部の知恵を借りる方向は「医療分野・白宣言・コンパクトシティ・青の里構想」等、政策形成・実践に成果を生み出している。今後は的確な判断のもとに、機動的な活用が心掛けていきたい。

問

町補助金・委託事業の改革に向けては、住民・役場職員・議会が審査可能な具体的審査基準を、新たに設定すべきでないか。

答

副町長 新たに「公募型」補助事業も展開しており、今少し情勢を見て判断する。

高浜町議会構成表

平成22年9月7日現在

議 長		濱 田 守 好		副 議 長		勝 本 繁 昭			
委員会名	常 任 委 員 会		議会運営 (6名)	特 別 委 員 会					
	総務産業 (8名)	厚生文教 (8名)		原子力対策 (8名)	地域医療対策 (15名)	広 報 (6名)	予算・決算 (15名)	農林水産 (7名)	議会改革調査 (15名)
委員長	栗野 明雄	小幡 憲仁	西出 秀雄	の場 輝夫	福永 広子	渡辺 孝	小幡 憲仁	山本 富夫	の場 輝夫
副委員長	池田 康信	渡辺 孝	磯部 武史	栗野 明雄	の場 輝夫	横田 則孝	池田 康信	勝本 繁昭	西出 秀雄
委 員	深井 久則	井ノ元康夫	小幡 憲仁	深井 久則	議長を除く 全員	小幡 憲仁	議長を除く 全員	井ノ元康夫	議長を除く 全員
	磯部 武史	清常 光洋	福永 広子	磯部 武史		栗野 明雄		清常 光洋	
	横田 則孝	井ノ上菅雄	栗野 明雄	池田 康信		の場 輝夫		井ノ上菅雄	
	勝本 繁昭	福永 広子	渡辺 孝	小幡 憲仁		西出 秀雄		横田 則孝	
	山本 富夫	の場 輝夫		福永 広子				渡辺 孝	
	西出 秀雄	濱田 守好		西出 秀雄					

若狭消防組合議会議員	
的場 輝夫	小幡 憲仁
福永 広子	

嶺南広域行政組合議会議員	
山本 富夫	濱田 守好

福井県後期高齢者医療広域連合議会議員	
濱田 守好	

高浜町監査委員	
横田 則孝	

総務産業

常任委員会報告

委員長 栗野 明雄

9月15日午前9時より午後4時25分まで役場3階会議室にて委員7名出席1名欠席で開催した。説明者は副町長、各担当課長他

議案第47号

平成22年度高浜町公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)

高森工業団地内企業の事業拡大に伴い、下水道整備が必要になった。平成17年に敷設した青戸入り江側の下水道は耐用年数は40年以上ある、老朽化のため撤去するのは当初の計画が甘い。との指摘に、これは企業誘致の投資である。との答弁があった。

【全員賛成で可決】

議案第48号

平成22年度高浜町水道事業特別会計補正予算(第1号)

【全員賛成で可決】

議案第50号

高浜町道路線の認定

【全員賛成で可決】

議案第51号

高浜町道路線の変更

【全員賛成で可決】

議案第52号

区域外町道路線の管理

【全員賛成で可決】

認定第7号

平成21年度高浜町簡易水道事業特別会計歳入歳出決算認定

【全員賛成で可決】

認定第8号

平成21年度高浜町公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定

マンホールポンプへの異物混入を防ぐ阻集器の開発の説明があり、実績を上げられたので、賛辞を送った。

【全員賛成で可決】

認定第10号

平成21年度高浜町公有水面埋め立て事業特別会計歳入歳出決算認定

【全員賛成で可決】

認定第11号

平成21年度高浜町宅地分譲特別会計歳入歳出決算認定

【全員賛成で可決】

認定第12号

高浜町国民宿舎事業特別会計歳入歳出決算認定

ネット販売を始め、宿泊客が20%増加した。手数料は8%であった。エアコンの交換などで修繕費がかさみ赤字決算となった。コンパクトシティ構想で、城山荘を立て替えるときは、減価償却が終わっていないと、経産省の認可が必要になる。

【全員賛成で可決】

認定第13号

平成21年度高浜町水道事業特別会計歳入歳出決算認定

【全員賛成で可決】

請願第3号

免税軽油制度の継続を求める意見書の提出を求める請願
この制度は、農業、漁業、林業などで使う軽油を申請すれば免税となる制度である。このままでは平成24

年に廃止となる状況にある。

農業、漁業は廃止されるとやっつけけない。継続は当然との議論があった。

【全員賛成で採択】

請願第4号

米価の大暴落に歯止めをかけることを求める意見書の提出を求める請願

40万トンの買い上げを政府で議論中である。急がなくなると良い。需給状況で左右されてはいけない分野である、暴落は防ぐべきである。農業に関わるものとして、米価が下がってきているので、採択してほしい。

【賛成多数で採択】

陳情第7号

地方財政の充実強化を求める意見書の提出を求める陳情

地方財政計画・交付税総額確保。国・地方の税収配分の見直し。雇用対策。公共事業の地方負担の軽減などを求めるものである。

【全員賛成で採択】

厚生文教

常任委員会報告

委員長 小幡 憲仁

《審議事項》

○付託案件の審査

■議案第44号

平成21年度高浜町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)

療養給付費と高額療養費の支払い時期に関して質疑が行われた。

【全員賛成で原案可決】

■議案第45号

平成21年度高浜町老人保健特別会計補正予算(第1号)

質疑は特になし

【全員賛成で原案可決】

■議案第46号

平成21年度高浜町介護保険特別会計補正予算(第1号)

介護保険と医療保険の適用の相談体制について質疑が行われた。

【全員賛成で原案可決】

■議案第49号

高浜町国民健康保険条例の一部

を改正する条例

質疑は特になし

【全員賛成で原案可決】

■認定第2号

平成21年度高浜町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定

納税貯蓄組合の要件を満たしているにも関わらず納税奨励費の支給対象から外される事例があるとの指摘があり、納税貯蓄組合と町とで少し齟齬があったので趣旨理解に取り組みとの答弁があった。

国保税に重税感があるとの指摘が複数の委員からあり、一般会計からの赤字補填で税を引き下げるべきではないかとの意見が出された。

これに対し、一般会計からの赤字補填は、社会保険の被保険者等との公平性という面で問題も多く慎重にならざるを得ないが、本委員会の議論を踏まえ、国保の運営協議会の場で国保税のあり方について議論するとの方針が示された。

反対討論として、国保税の介護保険分の限度額が平成21年度に9万円から10万円に値上げされたことを理由として、決算認定に反対するとの討論があった。

るとの討論があった。

【賛成多数で原案認定】

■認定第3号

平成21年度高浜町国民健康保険診療所特別会計歳入歳出決算認定

高浜町における在宅医療のあり方について質疑が行われた。

【全員賛成で原案認定】

■認定第4号

平成21年度高浜町老人保健特別会計歳入歳出決算認定

質疑は特になし

【全員賛成で原案認定】

■認定第5号

平成21年度高浜町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定

質疑は特になし

【全員賛成で原案認定】

■認定第6号

平成21年度高浜町介護保険特別会計歳入歳出決算認定

介護認定期間について、概ね順調に認定できているとの報告があった。

ただ、医師意見書の発行遅れが原因で、認定が遅れるケースもあるので引き続き早期認定に取り組みとの答弁があった。

介護度の認定が厳しく、制限を越えた介護サービスは全額自己負担となるケースを善処できないかとの指摘があった。全国的には二号被保険者の保険料で補填している自治体もあるが保険料が高くなるので難しいとの答弁があった。

介護保険会計が黒字で推移しており、基金に相当残高もあることから保険料が高いのではないかと指摘があった。これに対し、介護給付費は年々増加傾向で介護保険会計は赤字傾向となることが見えており、今後は、基金等も活用して、現状の保険料をできるだけ長期間、現行保険料の維持に努めたいとの答弁があった。

なお、平成24年度から26年度の第5期の介護保険料については、現時点では基金の取崩しを前提に据置を考えているとの方針が示された。

【全員賛成で原案認定】

議会改革調査

特別委員会報告

委員長 的場 輝夫

1 町議会議員報酬について

●議員報酬については、生活給としての要素を重視するのか。

●財源については、議員定数

論議も深める必要があるのか。

●従来、議員報酬は町長報酬の3分の1程度としてきている整合性をどうとるのか。

等々について論議したが、結論に至らず今期議会改革検討委員会では、結論をだすのは見送り、来年の議員改選後の課題とした。

2 議会の会派制度導入について

●会派制度導入については、現時点申請はないので、申請があった時点で検討する事とした。

3 議会のテレビ放送

選挙費用公費負担について

●各委員会のテレビ放映・町議会議員選挙の一部費用を公費負担とし、誰でも立候補しやすくないか、との課題については、理事者側と議長・正副委員長で協議する事とした。

原子力対策

特別委員会報告

委員長 的場 輝夫

◎委員7名(深井欠席)

◎説明委員/関電所長・副所長他の参加で、9月17日 午前9時より開催。

■高浜発電所の現状と今後の課題について

2号機は定期検査中(11月中旬まで)、主要工事は原子炉照射試験片取出工事など6項目、設備の保全対策、燃料集合体の取替え、今後の予定について、詳しく説明を受け、意見交換した。

1・3・4号機は順調に稼働中。

■原子力安全・保安院 高浜原子力保安検査官事務所(高浜オプファイトセンター)見学。

保安検査官から原子力防災について説明を受け、原子力防災訓練ビデオの後、センター内の見学をし意見交換をした。

24時間体制で緊急事態発生時に迅速に対応できる体制をとり、原子力防災に関する中核的役割を果たしている。

鳥獣害防止対策調査

特別委員会報告

委員長 山本 富夫

9月議会より新たに3名の委員が加わり開催した。平成22年度の鳥獣害予算の執行状況を確認。青地区で予定していた若狭牛放牧による獣害防止が中止された状況報告があった。電気柵は、新たに19kmが町内に新設された。追い払いとしてロケット花火、爆竹などが補助され、地域での追い払い隊が結成されるなど獣害に対応する意識が高まりつつあることを確認した。

現地視察として、高野区での迫いはらい隊の皆さんから意見聴衆を行い今後の問題点等の改善すべき意見が出された。

その他、青地区・岩神地区に設置された電気柵の設置場所を現地確認して委員会を終了した。

地域医療対策

特別委員会報告

委員長 福永 広子

国の方針変更による高浜町の今後の課題及び1年半を経過した寄附講座の現状について、町長・和田診療所所長より説明を受け質疑を行った。

■「LELO」延長による町の動きについて

2年間延長されたが、町の基本方針は変わらずその期間内に、専門に委託して詳細な経営形態を検討する。地域医療推進合同会議の提言を受け、コンパクトシティ構想での具体化を図る。

■寄附講座による地域医療の変化と今後について

●医師数の減少を防ぐ。
●教育機能の充実による研修生の増加

●「住民サポーター」の設立
今後更にも効果を上げるよう、プログラムの充実とメディアを利用した認知度を広げる。

若狭消防組合議会報告

議員 福永 広子

第151回若狭消防組合議会臨時会

◎日時 平成22年6月29日

◎場所 若狭消防組合議場

議案第1号

平成22年度若狭消防組合一般会計補正予算(第1号)

歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ12億7,237万5千円とする。

議案第2号

若狭消防組合職員の育児休業等に関する条例の一部改正

議案第3号

若狭消防組合職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正

議案第4号

若狭消防組合議会会議規則の一部改正

以上、4議案の全てについて全員賛成で可決された。

閉会後、管内視察を行った。

たい。

賛成討論

山本 富夫 議員

歳入財源は原発が半分との反対意見があるが、今日の高浜町が安定的な財政運営がなされたのは原発立地町として取り組んだお陰である。

認定第2号

平成21年度高浜町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定

反対討論

渡辺 孝 議員

国保税のうち、介護分の賦課限度額が1万円値上げされ10万円となった。多額の積立金を使って値上げを押さえるべきである。

認定第7号

平成21年度高浜町簡易水道事業特別会計歳入歳出決算認定

反対討論

渡辺 孝 議員

簡易水道料金が、上下水道料金と統一された。簡易水道は水量、水質など上水道とくらべ不安定である。料金には格差をつけるべき。

賛成討論

栗野 明雄 議員

料金が上水道並みになり反対とのことであるが、水質が上水道と同等にな

質疑・討論

議案第43号

平成22年度一般会計補正予算(第3号)

質疑

小幡 憲仁 議員

問 高浜発電所のプルサーマル実施で交付される「核燃料サイクル交付金」を財源として、防災行政無線他の整備が予算計上された。この交付金は福井県全体で60億円交付されるが、その対象となる福井県の地域振興計画が議会に示されていない。どうなっているのか。

答 60億円のうち24億円が高浜町に交付されるが、振興計画については国でヒヤリング中であり、認められたものから予算化している。他にし尿処理の改善と下水道関係、清掃センターの改修が近々認められる予定である。

質疑

勝本 繁昭 議員

問 衛生費、病院機能整備等業務委託はどのような業務なのか、昨年のコンサルタントとは、別の業務なのか。

答 保健課長

別の業務である。

質疑

山本 富夫 議員

問 有線放送施設運営費について賃貸住宅・外国人等に設置は大丈夫か。

答 住民票登録の際に設置に関する確

認を徹底する。

反対討論

渡辺 孝 議員

プルサーマル計画実施に伴う国からの交付金が入った。原子力発電のさらなる危険性の代償であり、財政上も不安定、不健全となる。

議案第47号

平成22年度高浜町公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)

質疑

勝本 繁昭 議員

問 各事業所からの加入金等はあるのか。

答 上下水道課長

加入金はない。

議案第48号

平成22年度高浜町水道事業特別会計補正予算(第1号)

質疑

勝本 繁昭 議員

問 各事業所からの加入金等はあるのか。

答 上下水道課長

加入金はある。

賛成討論

勝本 繁昭 議員

北陸新幹線若狭ルート整備は、昭和48年に閣議決定されているものである。大きな財源が必要となるが、当町も国策である原子力発電に寄与している地域である。

裏日本海側にも新幹線は重要な交通体系である。今、表日本列島では、リニアモーターカーを運転し、運営を行うと言う事で試験運転等行い交通便利が新しく出来る。表日本列島のみでなく地域格差の無い平等を図って貰うためにも意見書を提出する事に賛成である。

賛成討論

山本 富夫 議員

昭和48年に若狭ルートと閣議決定されたのであつて若狭に取つても経済効果は計り知れない。現在関西経済圏では、関西空港までの乗り入れ案もあり、若狭ルートは堅持すべきである。

採決

賛成多数で可決



平成21年度決算 監査報告 監査委員 片山 日出夫

平成21年度の高浜町の歳入歳出決算について、横田 則孝 監査委員とともに審査したので結果を報告する。

審査は6月29日から8月23日までの間で実施し、各会計の決算書類及び出納事務等の関係諸帳簿について、計数、正確性を確認し、適正かつ効率的に執行されたかを調査、照合するとともに、財政運営の状況等に関しても関係職員の説明を求めた。

審査の結果、計数はいずれも関係諸帳簿と符合して正確で、その内容も適正に処理されていた。

一般会計の決算について、歳入は総額75億9,850万7,783円(対前年度比4.48%増加)で、国県補助金で1億5,876万6,000円の収入が翌年度へ繰り越されたこともあり、収入率は96.53%(対前年度比1.91ポイント低下)であった。収入済額の主な内訳では、前年度に比べて個人町民税が2.13%減少、法人町民税が17.55%減少したほか、自動車取得税交付金が41.53%減少、経済対策が盛り込まれた国庫支出金が8.30%増加など、景気の低迷による影響が強く現れていると考えられる。

一般会計の収入未済総額は2億5,413万7,666円で、そのうち翌年度への繰越事業の国県補助金を除いた町税、保育料、住宅使用料等の収入未済額は合計9,537万1,666円であった。負担の公平性を保つ点からも、滞納者の状況把握に心がけ、滞納整理に更なる努力を願いたい。

歳出は総額71億1,836万4,091円(対前年度比2.78%増加)で、2億2,216万6,428円の事業費が翌年度へ繰り越されたこともあり、執行率は93.94%(前年度比2.39ポイント低下)であった。不用額は2億3,716万6,481円(歳出予算額の3.13%)であり、実質収支額は4億786万9,264円(対前年度比35.83%増加)であった。町の財政力が低下する中、効率のよい予算執行をなされたい。

平成21年度完成工事では、青郷小学校体育館改修工事、青郷小学校太陽光発電設備工事の2件を現地監査し、目的達成のために十分な施工がなされたことを確認した。

次に公営企業会計を除く10の特別会計の決算は、歳入総額33億6,902万8,622円(対前年度比5.69%減少)、歳出総額32億8,988万8,782円(対前年度比4.67%減少)であった。特別会計全体での徴収率は97.70%(対前年度比0.12%減少)、国民健康保険税等の収入未済額は合計7,380万9,898円であり、一般会計と同様に滞納の整理に更なる努力を願いたい。また、当年度は坂田グリーンタウン分譲地の販売実績がなかったが、町財政が厳しさを増す状況の中、財産の適正な管理、適確な整理に努め、早期に完売できるよう尽力されたい。

財政調整基金など積立基金の額は合計48億2,256万9,000円(対前年度3億2,833万1,000円増額)となった。基金の一部は国債での運用も行われているが、年度末の地方債残高は118

億2,898万3,889円で、平成25年度まで10億円超の地方債返済が続く状態であるので、計画的な財政運営に努められたい。

公営企業会計の決算について、まず国民宿舎事業特別会計では、城山荘の年間利用者は1万5,690人(対前年度比2.31%減少)で、営業収益は1億487万14円(対前年度比4.83%減少)であったが、人件費を含む経費の節減で、営業費用は1億831万1,919円(対前年度比6.44%減少)とし、営業損失は344万1,905円(対前年度比38.31%減少)と赤字を縮小、一般会計からの補助金も半減させており、経営改善努力の成果が現れている。

今後は料金収入による経営の自立を目指し、新規利用者の獲得、リピーターの確保に取り組むとともに、顕在化している建物・設備の老朽化にも将来を見据えた的確な対応を検討し、一層の収益向上に努力されたい。

次に水道事業特別会計は、使用水量は146万5,729㎥(対前年度比1.01%増加)、年間有収率は93.12%(対前年度比0.15%増加)であった。これにより営業収益は1億6,952万821円(対前年度比0.83%増加)、対する営業費用は1億5,596万2,502円(対前年度比1.46%減少)で、営業利益は1,355万8,319円(対前年度比37.62%増加)、営業外の収益、費用等を含む当年度純利益は1,733万5,541円(対前年度比29.46%増加)となった。

給水実績の増加等により増収となったが、近年は給水人口が減少傾向にあり、今後は老朽化に伴う施設改修等も必要とされるので、計画的な施設・設備の更新、災害対策の強化など、経営基盤の強化に一層努力されたい。

町財政全般につきましては、自主財源比率が51.8%(対前年度比4.2ポイント低下)、財政力指数は3ヵ年平均で0.968、経常収支比率は平成19年度から3年連続で99%前後の値であるなど、経常的な余剰財源が乏しく、かなり硬直化した財政状態となっている。

依然として低迷する経済状況の中で、町税など自主財源の減少、地域主権の推進による負担の増加など財政を取り巻く環境は年々厳しさを増す状況にあっては、事業評価の仕組みを早急に確立させ、客観的な事業効果の検証、大胆な事業見直し等、経費の削減と合理化を図り、またその経過や結果の公表に努めるなど、町民の理解を得られる形での行財政改革・事業推進を強く要望する。

長期的な展望のもとに状況を的確に捉えながら、これからの高浜町を担う人材育成にも積極的に取り組まれ、これまで以上に良質で効果の高い事業の推進に努め、健全な行財政運営の維持・増進がなされるよう期待するところである。

議決の結果

議案番号	件 名	議決の結果
承認第3号	専決処分の承認を求めることについて	全員賛成
議案第43号	平成22年度高浜町一般会計補正予算(第3号)について	賛成多数
議案第44号	平成22年度高浜町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)について	全員賛成
議案第45号	平成22年度高浜町介護保険特別会計補正予算(第1号)について	全員賛成
議案第46号	平成22年度高浜町介護保険特別会計補正予算(第1号)について	全員賛成
議案第47号	平成22年度高浜町公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)について	全員賛成
議案第48号	平成22年度高浜町水道事業特別会計補正予算(第1号)について	全員賛成
議案第49号	高浜町国民健康保険条例の一部を改正する条例について	全員賛成
議案第50号	高浜町道路線の認定について	全員賛成
議案第51号	高浜町道路線の変更について	全員賛成
議案第52号	区域外町道路線の管理に関する協議について	全員賛成
認定第1号	平成21年度高浜町一般会計歳入歳出決算認定について	賛成多数
認定第2号	平成21年度高浜町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	賛成多数
認定第3号	平成21年度高浜町国民健康保険診療所特別会計歳入歳出決算認定について	全員賛成
認定第4号	平成21年度高浜町老人保健特別会計歳入歳出決算認定について	全員賛成
認定第5号	平成21年度高浜町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	全員賛成
認定第6号	平成21年度高浜町介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	全員賛成
認定第7号	平成21年度高浜町簡易水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	賛成多数
認定第8号	平成21年度高浜町公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	全員賛成
認定第9号	平成21年度高浜町集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定について	全員賛成
認定第10号	平成21年度高浜町公有水面埋立事業特別会計歳入歳出決算認定について	賛成多数
認定第11号	平成21年度高浜町宅地分譲事業特別会計歳入歳出決算認定について	全員賛成
認定第12号	平成21年度高浜町国民宿舎事業特別会計歳入歳出決算認定について	全員賛成
認定第13号	平成21年度高浜町水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	賛成多数
諮問第1号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	全員賛成
諮問第2号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	全員賛成
同意第1号	教育委員会委員の任命について	全員賛成
発議第4号	北陸新幹線若狹ルート整備に関する意見書の提出について	賛成多数
発委第6号	免税軽油制度の継続を求める意見書の提出について	全員賛成
発委第7号	米価の大暴落に歯止めをかけることを求める意見書の提出について	賛成多数
発委第8号	地方財政の充実・強化を、求める意見書の提出について	全員賛成

議会の動き



高浜町海水浴場海開き



2010若狹たかはま漁火想



平成22年度新嘗祭御米献穀奉耕拔穂式



高浜地区敬老会

6月29日	第151回若狹消防組合議員臨時会
7月 2日	平成22年度町議会議員研修会
4日	高浜町海水浴場海開き
5日	福井県原電所在地議会特別委員会連絡協議会平成22年度第2回理事会
7日	平成22年度関西電力原子力発電所立地町議会連絡協議会理事会
8日	平成22年度第47回暴力追放カーパレード
13日	主要地方道坂本高浜線（石山工区）開通式典
15日	福井県原子力発電所所在地市町協議会平成22年度総会
16日	福井県原電所在地議会特別委員会連絡協議会総会
19日	来てミナーレ内浦2010釣り大会
22日	全員協議会
24日	2010若狹たかはま漁火想
27日	嶺南広域行政組合議会代表者会議
8月 2日	平成22年度関西電力原子力発電所立地町議会連絡協議会総会
8日	平成22年度琵琶湖若狹湾快速鉄道建設促進期成同盟会総会・記念講演会
9日	北陸新幹線建設促進大会及び平成22年度北陸新幹線建設促進同盟会総会
10日	嶺南市町議長会定例会
18日	議会補欠議員研修会
20日	全員協議会
26日	嶺南振興局との行政懇談会
30日	全員協議会（議案事前説明）
31日	全員協議会（議案事前説明）
9月 1日	第28回初期消火技術大会
7日	第5回（9月）定例会
8日	平成22年度新嘗祭御米献穀奉耕拔穂式
17日	「ふくいカップJBVグランドスラム高浜大会」レセプション
19日	高浜地区敬老会

編集後記

記録的な猛暑の夏もようやく過ぎて、秋風が爽やかに感じられる頃となりました。

8月には、町議会議員補欠選挙が行われ、新たに4名の議員が選出され、この9月定例議会においては活発な議論が交わされました。

議会の果たす役割は、これまで以上に重く責任のあるものと認識しております。

広報委員一同、一生懸命に取り組んでまいりますので今後ともご意見、ご指導をよろしくお願い申し上げます。

広報特別委員会

委員長 渡辺 孝

副委員長 横田 則孝

委員 小幡 憲仁

栗野 明雄

的場 輝夫

西出 秀雄

横田 則孝